

食品ロス削減事業（案）について

1 食品ロス削減シンポジウム（令和元年 11 月開催予定）の開催

○参加予定人数 100 名

（ごみゼロやまがた推進県民会議の構成団体、市町村・一部事務組合、もったいない山形協力店登録事業者、一般県民）

○シンポジウム内容

- ・基調講演（食品ロス問題専門家等）
- ・情報提供（食品ロスの現状等）
- ・事例発表（モデル的に取り組む団体、企業）
- ・パネルディスカッション
- ・食品ロス削減の共同宣言の採択

2 貴団体への依頼事項

○シンポジウムへの出席

○シンポジウムで、食品ロス削減の共同宣言への参画

○構成団体の会員企業への食品ロス削減運動の浸透（シンポジウム後）

- ・構成団体から会員企業へ周知し、食品ロス削減運動の実施。
- ・賛同する会員企業から従業員及びその家庭へ周知し、食品ロス削減運動の実施。

[実践例]

（企業） 懇親会等の宴会で食べきり運動（3010 運動） 等
（従業員家庭） 食品ロス削減レシピ（環境にやさしい料理レシピ等）の活用、
食品の期限表示（賞味期限、消費期限）の理解の促進 等

※ポスター、リーフレット、卓上 POP 等を配付。

※上記構成団体等の取組結果を、県HP等で紹介予定。

3 参考

- ・12～1 月期の『外食時の「おいしい食べきり」全国共同キャンペーン』時に、「懇親会等における 3010 運動の実践」や「社員食堂での食べきり運動」等の取組を集中的に実践。
- ・新聞広告等により、消費者に対し、食品ロス削減の共同宣言のPRや食品ロスの現状及び削減取組の周知予定。